

Zoom Up

人

夢をあきらめずに
挑戦すれば必ずチャンスはある
それを子どもたちに伝えたいんです



雪

の多い旧安代町で生まれ育ち、ごく当たり前にスキーに親しんだ少年時代、小学4年生でスポーツ少年団に入団したときに「ジャンプをやってみないか？」と誘われた。それが、日本の冬季オリンピック史上

で2個目となる金メダルに輝いた三ヶ田さんが、夢へのスタートラインに立った瞬間だった。

オリンピックに

出たい。それはスポーツをする人ならば、誰もが一度は見る夢だろう。三ヶ田少年もオリンピックを夢見て努力を続け、その結果として、金メダリストになることができたのだ。

競技の第一線を

退いた三ヶ田さんに転機が訪れたのは、一昨年のトリノオリンピックのこと。テレビ解説者として、視聴者の側から競技を見るうちに、全ての人に夢や感動を

与えるスポーツの素晴らしさを再認識し、「この世界にもう一度携わりたい」という思いを強く持ったのだという。そんな折、県教育委員会がスポーツ特別指導員を公募することを聞き、決意を固めた。

三ヶ田さんは、自身を「ごく普通の人」と語る。すば抜けた能力がなくとも、努力を続けることで夢に到達できることを次の世代に伝えたいのだという。その一つの形として「いわてスパーキッズ発掘・育成事業」に期待をかける。

将来的に国際大会で活躍する選手を育成することが目的の事業だが、三ヶ田さんが考えているのは、それだけではあきらめずに何かに挑戦する気持ち子どもたちの心の中に入れれば、生きていく上での「力」になる。その手助けをしようというのが、三ヶ田さんの新たな「夢」だ。

「子どもたちには、たくさんの方に興味を持って、挑戦してほしいです」。それを伝えるため、人からさまざまなことを学び、自らの成長も目指している。

三ヶ田さんの新たな夢が、世界の空に大きなジャンプを見せる日も遠くないだろう。



三ヶ田 礼一 さん

●みかた・れいいち 明治大学卒業後、平成元年にリクルート入社。世界選手権やワールドカップなどで輝かしい成績をあげ、4年のアルペールビル冬季オリンピックのノルディック複合団体競技で金メダルを獲得。19年4月から財団法人岩手県体育協会のスポーツ特別指導員として講演活動などに活躍。「夢に挑戦すること」をモットーとする41歳。血液型B型のやぎ座。母と妻、長男長女の5人家族。田山出身。盛岡市在住。